

# 東海防衛だより



2017 / I  
東海防衛支局



001

機体番号 51-0001  
二式戦闘機SU-44  
高松航空基地



## 東海防衛支局の業務・取組み/東海3県の自衛隊の動き

- ◆ 稲田防衛大臣航空自衛隊岐阜基地視察
- ◆ 平成28年度伊勢湾掃海訓練
- ◆ 岐阜飛行場周辺における航空機騒音の測定
- ◆ 防衛施設周辺対策事業
- ◆ 平成28年度部隊等連絡調整会議
- ◆ 東海3県における自衛隊の行事と地元交流

## 東海3県の防衛産業・技術基盤

- ◆ シンフォニアテクノロジー株式会社 (三重県伊勢市)

地本だより

2017東海防衛セミナーのお知らせ



# 稲田防衛大臣航空自衛隊岐阜基地視察



XC-2前での記念撮影



X-2前での記念撮影

平成28年12月2日、稲田防衛大臣は、岐阜県各務原市に所在する航空自衛隊岐阜基地を訪れ、次期輸送機XC-2と、研究開発中の先進技術実証機X-2などを視察しました。

大臣は、同基地の飛行開発実験団から次期輸送機XC-2の説明を受け、同機に搭乗し、同基地の上空を飛行しました。

その後、防衛装備庁岐阜試験場から先進技術実証機X-2の説明を受け、同機の操縦席に座り開発状況を確認しました。

また、同基地所在の隊員に、「岐阜基地は、来年（平成29年）には100周年を迎える大変伝統と歴史のある基地である。科学技術の急速な進歩に適切に対応できるよう、装備品の研究開発に創造的に取り組んでほしい。」と訓示しました。

同基地の視察後、「次期輸送機XC-2の運用について大変期待している。先進技術実証機X-2は、我が国の技術が非常に高いことを実感した。日本の本当にきめ細やかないろいろなところに配慮し、デザインの力を駆使した大変素晴らしい技術であり、クールジャパンだと感じた。」と述べました。

(前頁写真上、左下、本頁写真：空自岐阜基地提供)



XC-2の説明を受ける稲田大臣



XC-2での記念撮影



X-2の説明を受ける稲田大臣



訓示する稲田大臣

# 平成28年度伊勢湾掃海訓練



掃海艦「はちじょう」から発進する処分艇



松阪港に集結した参加艦艇



訓練機雷の回収



機雷処分具の投入作業



処分艇を揚収する掃海母艦「ばんご」

(前頁写真、本頁右写真：海上自衛隊提供)

平成29年2月1日から2月10日までの間、海上自衛隊の掃海部隊の艦艇17隻、隊員約800名が、伊勢湾の松阪港沖約10kmに設定された訓練海面で、戦術技量向上を目的とした掃海訓練を実施しました。

この訓練は、関係漁業者や関係自治体のご理解とご協力を得て実施しているもので、平成22年度以降、今回で6回目となります。

伊勢湾では多くの漁船が操業しているほか、名古屋港、四日市港ほかに多くの船舶が入出港していることから、東海防衛支局では、関係漁業者や船舶各団体へ周知を図るとともに、訓練期間中の不測の事態に対応するため、現地に連絡要員を派遣し、訓練部隊等との連絡に万全を期しています。

また、関係漁業者からのご要望を踏まえ、船揚げ施設や漁業用無線施設の整備などの周辺対策事業を実施しています。

今後とも、掃海訓練が継続して実施できるよう、関係漁業者をはじめとする皆様に、より一層のご理解を頂くよう努めてまいります。

## 掃海訓練の必要性

四周を海に囲われた資源の少ない日本は、資源や食料の輸入は、海上輸送に大部分を頼っています。その海上輸送がストップすれば、日本経済や国民の生活に甚大な影響を及ぼします。日本の港湾や海峡に機雷が敷設されれば、それを除去するまで船舶はその海域を通航することができません。海上自衛隊の掃海部隊は、我が国周辺海域に機雷が敷設された場合に、これらを除去することで、海上輸送の安全を確保し、日本経済や国民生活を守ります。そのために、定期的に訓練海面を設定して、機雷除去の訓練を実施し、着実に能力・技量を維持・向上させていくことが是非とも必要です。

## 三重県漁業協同組合連合会へ防衛大臣感謝状贈呈



三重県漁業協同組合連合会は、海上自衛隊が伊勢湾で実施している掃海訓練における様々な協力に対して、自衛隊記念日にあたり、平成28年10月22日、グランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）において、防衛大臣から感謝状が贈呈されました。

大臣から感謝状を贈呈される三重県漁業協同組合連合会池田常務理事



# 防衛施設周辺対策事業

## 笠松町無線放送施設

東海防衛支局では、岐阜飛行場の航空機による周辺地域への障害の緩和に資するため、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条に基づく民生安定助成事業を行っています。

岐阜県羽島郡笠松町が実施した防災行政無線施設のデジタル化への更新の事業に、平成27年度から28年度にかけて約1億3千万円の補助を行いました。

当事業により、町役場本庁舎内に親局、町内に子局33局が設置され、町内全域に災害情報を効果的に伝えることが可能となり、町の防災体制の向上につながっています。

子局

親局



### 笠松町担当者からの声

笠松町は、木曾川右岸に带状に沿った平地で、洪水に苦しめられた歴史をもつ町といえます。

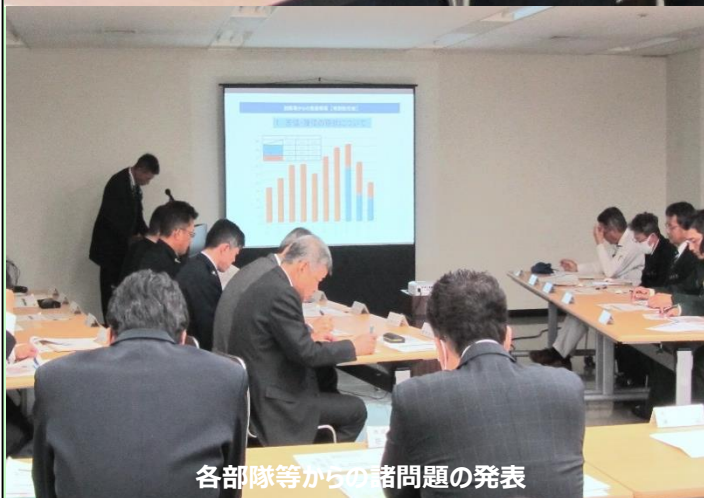
防災行政無線は、平成7年に導入以来20年余り経過し、老朽化に加え、町民からの強い要望もあり、この度防衛省補助により、デジタル化への更新とあわせ子局増設という施設整備を実施しました。これにより町内全域を音声到達領域として網羅するほか、屋外子局と災害対策本部が双方向通信できるなど、防災体制の充実に資することができました。

内閣府が災害時の避難情報の名称を変更するなど、避難情報をより迅速かつ的確に伝えることの重要性が叫ばれるなか、防災行政無線の適正運用に一層配意してまいります。

# 平成28年度部隊等連絡調整会議



基地周辺対策事業の説明



各部隊等からの諸問題の発表



東海防衛支局長の挨拶

東海防衛支局では、平成28年11月30日、管内の部隊や自衛隊地方協力本部と基地周辺対策事業や防衛施設周辺における諸問題について意見交換を行い、基地運用の充実を図るため、「平成28年度東海防衛支局管内部隊等連絡調整会議」を開催しました。

当会議では、当支局から、公園整備や道路改修工事、学校や住宅などの防音工事の基地周辺対策事業についての概要や具体例の説明、また、参加した部隊等から、荒天時における防衛施設周辺の道路や河川への土砂流出など、部隊等の諸問題や懸案の報告があり、それらについて活発な議論がなされました。

# 東海3県における自衛隊の行事と地元交流

自衛隊では、地域の皆様との交流のため、駐屯地や基地を開放してさまざまな行事を行うとともに、自治体の行事にも参加しています。

## 各駐屯地・基地の餅つき行事



(岐阜基地ホームページから転載)

管内の駐屯地や基地では、12月に「餅つき行事」を開催し、地域と交流しました。(写真は各務原市長(左)と空自岐阜基地司令(右))

## 第10師団創立54周年記念行事(11月19日)



(第10師団ホームページから転載)

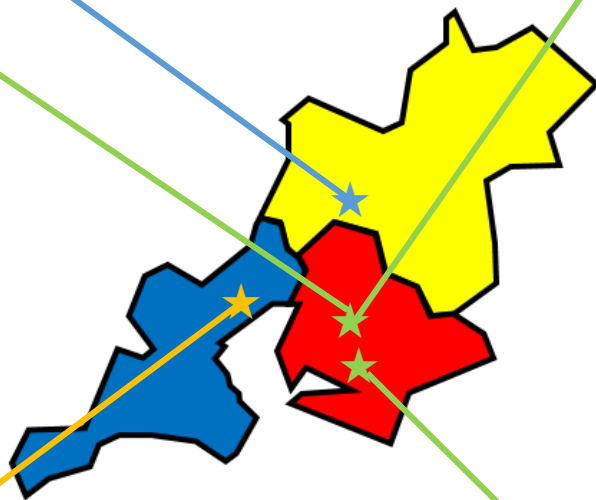
名古屋市にある守山駐屯地において、「第10師団創立54周年記念行事」が開催され、約4,500名が来場しました。

## 第16回第10師団音楽まつり(2月4日)



(第10師団提供)

名古屋市において、「第16回第10師団音楽まつり」が開催され、約4,000名が来場しました。



## クリスマスコンサートin四日市市(12月17日)



(三重地方協力本部提供)

四日市市において、三重地方協力本部が支援し、海上自衛隊舞鶴音楽隊が出演した「クリスマスコンサートin四日市市」が開催され、約1,000名が来場しました。

## 豊川駐屯地創立66周年記念行事(11月26日)



豊川市にある豊川駐屯地において、「豊川駐屯地創立66周年記念行事」が開催され、約7,000名が来場しました。

## 東海3県の防衛産業・技術基盤

東海防衛支局では、防衛省・自衛隊が使用する装備品を調達するにあたり、製造工程での審査や、最終的な完成検査を行っています。そこで、このコーナーでは、我が国の防衛力の基盤となる製造企業の技術力を紹介します。

【シンフォニアテクノロジー株式会社】（三重県伊勢市）  
～今年で創業100年～多彩な技術で未来を奏でる

シンフォニアテクノロジーは、「お伊勢さん」で有名な伊勢神宮の近郊に位置し、今年で創業100年を迎えます。創業当初は船舶用の発電機を製造していましたが、1920年（大正9年）に、旧陸軍の依頼を受けて航空機の翼に取付ける風車式発電機を開発したことを機に、航空機関係の分野に進出しました。

その後、発電機の事業で得た技術を基に、電気自動車や産業機械を動かすモーター等の分野にも進出し、現在では航空宇宙、自動車、産業機械の分野から水道、電気等のインフラ設備に至るまで同社の製品は社会の様々な場面で活躍しています。今回は同社の多彩な製品の中から、創業当初から培った技術とノウハウを持つ発電機関係の技術について紹介します。



### 1 「職人技」の巻線

発電機は、エンジンの出力（回転）を動力源として電力を発生させる機器であり、これを搭載する航空機や自動車にとって重要な構成部品となります。

発電機を構成する部品のひとつに、巻線という電線をコイル状に巻付けたものがあり、電力の基となる電磁力を産み出す重要な役割を担っています。同社では、電線を巻き上げる作業（巻線加工）は、熟練した作業者の手作業「職人技」によって行われています。

巻線加工は、巻線の性能に直結する重要な工程であり、小型軽量や高性能が求められる航空機用の発電機に使用する巻線は、特に高密度かつ繊細な仕上がりが要求されます。この厳しい要求に応える同社の「職人技」巻線加工は、創業から培われた技術とノウハウの賜物であり、機械では再現できないものです。長年の実績と信頼に基づく巻線加工の技術は、将来の航空機用発電機にも採用される予定であり、人から人への伝承とともに今後も受け継がれていきます。

### 2 防衛装備品にも広く採用

同社の発電機は、海上自衛隊のP-1哨戒機や航空自衛隊のXC-2輸送機をはじめ多くの航空機に採用されています。自衛隊の航空機に搭載する機器には高い信頼性と耐久性が求められていますが、同社が提供する製品も、この厳しい要求に応えています。

また、更なる電子化が進む将来の航空機の要求に応えるため、ブラシレス式と呼ばれる新型の交流始動発電機の開発を始め、従来型発電機においても、大容量、高効率、小型軽量化等の改良に取り組んでいます。

このように、シンフォニアテクノロジーは総合電源システムメーカーとして、自衛隊の任務遂行に大きく貢献するとともに、日本の航空宇宙産業や防衛産業の一翼を担っています。



シンフォニアテクノロジー伊勢製作所  
（航空宇宙生産工場）

風車式発電機  
（最初に開発した航空機用発電機）

大型航空機用の発電機  
（P-1/XC-2用）



# 地本だより

自衛隊地方協力本部（地本）は、自衛隊を志す方やご協力・ご支援を頂ける皆様への窓口です。

## 愛知地方協力本部

(電話)052-331-6266

<http://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



### ●航空自衛隊小牧基地オープンベースのお知らせ

日時：平成29年3月5日（日）

午前8時30分～午後3時

場所：航空自衛隊小牧基地（愛知県小牧市春日寺1-1）

## 岐阜地方協力本部

(電話)058-232-3127

<http://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



### ●東日本大震災メモリアルコンサート関連展示のお知らせ

期間：平成29年3月1日（水）～7日（火）

場所：ふれあい福寿会館2Fアトリウム（岐阜県岐阜市藪田南5-14-53）

展示：自衛隊災害派遣パネル展

かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアルPRコーナーほか

## 三重地方協力本部

(電話)059-225-0531

<http://www.mod.go.jp/pco/mie/>



### ●「自衛隊体験学習」などのお知らせ

三重地方協力本部では、小・中学校、高校などにおける「総合的な学習の時間」への協力の一環として「自衛隊体験学習」「自衛隊出前講座学習」を行っています。

## 平成29年度 事務官等採用試験の日程

| 採用試験                             | 区分試験  | 受験資格  | 受付期間<br>(インターネット申込) | 試験期日                          | 最終合格発表 |
|----------------------------------|---|---|---------------------|-------------------------------|--------|
| 国家公務員<br>採用一般職<br>試験<br>(大卒程度試験) | 行政、電気・<br>電子・情報、<br>機械、土木、<br>建築、物理、<br>化学、農学、<br>農業農村工学、<br>林学 | 次に掲げる者<br>1 昭和62年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた者<br>2 平成8年4月2日以降に生まれた者で次に掲げるもの<br>(1) 大学を卒業した者及び平成30年3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者<br>(2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成30年3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者 | 4月7日～19日            | 1次 6月18日<br>2次 7月19日<br>～8月7日 | 8月23日  |

※詳しい情報は、人事院のホームページをご覧ください。

## 平成29年度 自衛官等募集の日程

| 募集種目                 | 資格   | 受付期間 (締切日必着)  | 試験期日   | 合格発表  |
|----------------------|--|---------------|--|---|
| 自衛官候補生<br>(男子)       | 18歳以上27歳未満の者   | 年間を通じて行っています。 | 受付時にお知らせします。   | 合格発表日は試験日にお知らせします。  |
| 自衛隊幹部候補生<br>(一般)     | 大卒程度試験<br>22歳以上26歳未満の者<br>(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満)<br>院卒者試験<br>修士課程修了者等(見込含)で、20歳以上28歳未満の者 | 3月1日～5月5日     | 1次 5月13・14日<br>2次 6月13～16日<br>3次 海・空飛行要員のみ<br>(海) 7月10～14日<br>(空) 7月15日<br>～8月3日 | 1次 6月2日<br>2次 海・空飛行要員のみ<br>(海) 7月3日<br>(空) 7月7日<br>最終<br>(陸・海) 8月4日<br>(空) 9月1日 |
| 自衛隊幹部候補生<br>(歯科・薬剤科) | (歯科) 専門の大卒(見込含)<br>20歳以上30歳未満の者<br>(薬剤科) 専門の大卒(見込含)<br>20歳以上28歳未満の者  | 3月1日～5月5日     | 1次 5月13日<br>2次 6月13日<br>～16日   | 1次 6月2日<br>最終 8月4日  |

※詳しい情報は、防衛省及び各自衛隊地方協力本部のホームページをご覧ください。

## 東海防衛支局

名古屋市中区三の丸2-2-1名古屋合同庁舎第1号館

(電話)052-952-8212

<http://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>





2017

# 東海防衛セミナー

## 防衛技術戦略と デュアルユース



第一部：「防衛技術戦略について  
～デュアルユース技術の活用を目指して～」  
防衛装備庁 技術戦略部長 野間 俊人 氏

第二部：「民生分野におけるデュアルユース  
～チラノ繊維の特性と用途～」  
宇部興産（株）化学カンパニーポリイミド・  
機能品ビジネスユニットチラノ繊維グループ  
グループリーダー 渋谷 昌樹 氏

入場無料  
450名  
(先着順)

【日時】平成29年3月14日(火)  
15時30分～17時30分  
(14時30分開場)

【会場】名古屋商工会議所 大ホール 2F  
名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル

主催  東海防衛支局

共催  Nagoya Chamber of Commerce & Industry  
名古屋商工会議所



【問い合わせ先】

東海防衛支局施設企画課 セミナー担当  
TEL 052-952-8223 FAX 052-952-8231